

野菜摂取量増加を図るコンテンツ

A2201307 金田 たばさ

研究の背景

福島県が実施する“ふくしまのおいしい「食」で元気になろう食育プロジェクト”は県民に対して食育の普及と啓発が目的である。そしてその食育プロジェクトのホームページ開発を依頼されることになり、私はその中の野菜摂取量増加対策のコンセプトに興味をもった。野菜を取り入れバランスのとれた食生活の重要性や野菜に関する情報を分かりやすく楽しませながら提供する WEB コンテンツの制作を行うことにした。

研究の目的

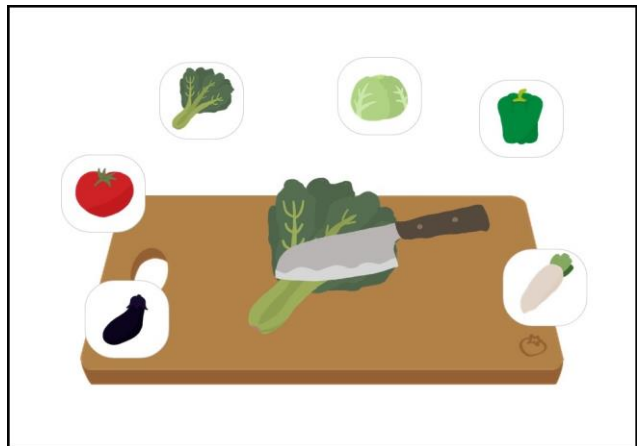
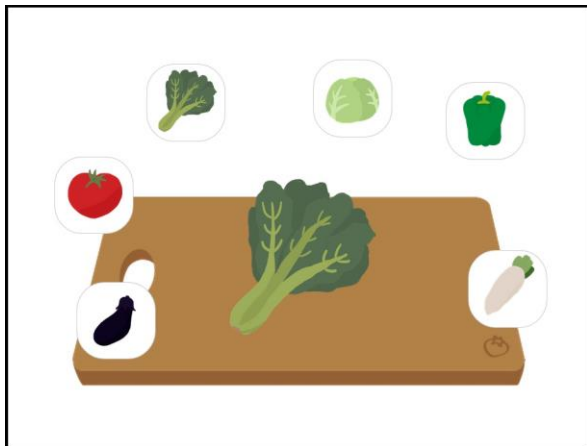
私自身野菜をあまり摂取していないのでこれを機に一県民として普段身近にある野菜やあまり知られていない地元の伝統野菜の良さを知り、提供者として、ただの情報提供としてのツールではなく、大人も子供も楽しめて野菜に興味関心が持てるようなコンテンツを制作し、食育プロジェクトの目的である野菜摂取量増加を図ることを目的とする。

研究のプロセス

- 野菜等のイラスト素材の作成
⇒カラフルなイラストにして小さな子供にも親しみやすくする
- 野菜を切る音効果音の録音
- 伝統野菜に関する調査
⇒伝統野菜の項目を作ることにより伝統野菜を知り実際野菜を食べたくなる
→野菜摂取増加に繋がるのではと考えた
⇒実際に野菜直売所などを回り伝統野菜を買って食べてみる
- 画面デザインの考案
- Java Script のコーディング
- HTML のコーディング

成果物(完成作品)

◆ 6種類の野菜ページ



◆ 伝統野菜ページ



考察

伝統野菜について調査してみて地元にはこんな野菜があるのだと認識でき、また実際食べてみると美味しかったので制作した web コンテンツを通して他のさまざまな人たちにも伝統野菜の存在を知ってもらい、伝統野菜に触れて食べてみたいと思ってほしいと感じた。

制作する際どのようにしたら野菜に興味を持ってもらえるか、目標である野菜について楽しみながら知ってもらうことを考えて制作に臨むことができた。見直しや改善点もあるがこれを見て少しでも野菜を食べようという意識に繋がるものとなってほしい。